

第 5 回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 21日(水) 19時00～20時30		
市町村名	堀金村	グループ名	2
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

1. 11月27日(火) 意見交換会合同報告会まとめ
 各自のレポート内容の発表(報告会用重点発表項目の確認)
 内容は添付レポート参照(レポート提出者8人分)

2. 確認事項

- 本日(11/21)をもって、第2グループの意見交換会を終了する。
 11月27日合同発表会をもって、堀金村の意見交換会を終了する。
 11月27日合同発表会発表者：M

堀金村意見交換会合同発表会 第2グループ 報告要旨

[経過報告]

- * 全員(14人)が参加した第1回は、意見交換会に参加した理由・意見をのべてもらった。
 賛成、反対、皆さんの意見を聞きたい、勉強をしたい等の理由、意見がのべられた。
 賛成または必要：4人、反対または必要ない、疑問：7人、
 どちらか考えたい、皆さんの意見を聞きたい：3人であった。
- * 県に対して、これまでの調査内容7項目の資料提出を求め資料の入手が実現。
- * 2回目～4回目までは、県提出資料の説明を受けると共に高規格道路と農業、堀金村の必要性、経費効果等関連付けた意見交換を行った。
 (2回～4回の意見交換会要旨参照)

[第2グループの意見・提言]

レポート提出者8人の重点要旨を各自あげてもらい、まとめた。

* 高規格道路建設に賛成または必要

豊科から白馬の道路は、開発の速度が大きく、生活道路の整備が追いついていけない状況下であり、生活道路と通過車輛の道路とをすみ分けていかないと弱者が車の増加に耐えきれない状況になる。

堀金物産センターの賑わいにみられるように、道路ができることにより新たな雇用や産業を生み出す要素がある。

減反政策により休耕田や荒れ地が増加するなかで、道路建設による用地のしめる割合と休耕地との比率を考え、道路買収費として地元にとされるお金で新たな産業を生み出していく素地があるのではないかと。

第5回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 21日(水) 19時00～20時30		
市町村名	堀金村	グループ名	2
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

全般的に、その財源で信号機・横断歩道、1m100万円の道路費用があれば保育園・学校がいくつ出来るとか、そんな低次元の話ばかりで失望した。道路とはどういうものか解っていない。

村、地域の民力度の向上(一部上場優良企業誘致)

優良企業の進出は雇用機会の安定、向上、高給社員による村財政のアップ。

観光地へのアクセス改善等地域活性化の促進。

道路混雑、渋滞解消(R147、R19)生活道路の確保(国営公園入園車輛、観光道路とのすみわけ)

高規格道路を糧に土地に付加価値をつけ、農家を元気付けなくてはならない。

田園風景や景観が破壊されると言うなら、そう発言する方はそれなりの代償を農家に支払うこと。

以上2名の意見・提言

* 高規格道路建設に反対または堀金村には必要ない、疑問

高速から高速を結ぶのが高規格というならば、中部縦貫道がままならないのに、なぜ波田から糸魚川なのか。堀金 - 大町区間が調査区間になったのか。

この安曇野の将来展望・将来構想はどのように考えているのか、住民のコンセンサスはとれているのか。ほんとうに高規格道路がなくては安曇野はやっていけないのか。その前に生活道路の整備・拡充など緊急的住民の切実な問題が山積されていて、優先すべきは、生活道路の整備・改良・改善であり、一日も早い一部渋滞の解消であり、信号機・歩道の整備による安全対策が必要である。

松本・糸魚川高規格道路ありきではなく、県が計画してきた道路・高規格計画の全容を広く住民に十分なる調査資料の提供をし、説明責任を十分果たすことと、この意見交換会の模様をインターネット、広報等で住民に知らせる事を提案致します。

一つ疑問が残る。それは最初に道路が必要だからという要望があり、そのための調査、予測が行われていることで、道路を作った場合の利点が強調されている。

要望と調査の間に4半世紀のへだたりがあり、状況が変化しているので、現時点での要望があるか是非を判断し、調査予測すべきです。

高規格道路の沿線は通過点となるので堀金村住民として反対する。

中部縦貫道の計画が具体化していない現在、豊科ICを起点とした、高瀬川堤防を利用し護岸工事を兼ねたルートがコスト的にも安価であり一石二鳥であるので推薦したい。

第5回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 21日(水) 19時00～20時30		
市町村名	堀金村	グループ名	2
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

計画の一つ、山麓ルートは反対である。これは第一に自然破壊、景観を損なう。第二に地域・集落の分断、第三に建設費の増大、第四にそり表遺跡等があり盛土によって遺跡を保存している。

堀金村第4次総合計画の合理的な土地利用の促進、優良農地の保全、景観形成の推進、田園風景を守る等の推進に支障を来たす。

道路建設により三角形の土地が残り、機械作業が出来なくなり荒廃した無駄な土地が出来ると共に、気象条件、地下水脈の変化、騒音、排ガスによる自然・生活環境の変化が農作物に悪影響を及ぼす。

生活道路の交差点の拡幅、信号機動作の変更によって、左折・直進・右折同時通行等による改善や観光客の地元交通機関の利用で交通渋滞は充分解消される。

右肩上がりの経済上昇は見込まれない上、国民一人当たり 550 万円もの借金を抱えている赤字国が 5000 億円もかけて高規格道路を作るよりも、生活道路の改善や社会福祉にまわしてもらいたい。

堀金村の自然は絶対に失いたくない。一度失うと元には戻らない。これ以上の開発はやめてもらいたい。

私の近くを通る事はあくまでも反対です。今ある道路をきちっと整備してほしい。

以上6名の意見・提言

以 上